

10/5
(土)

船穂小学校 PTA人権教育講演会 西日本豪雨から6年命を守るには ～高齢者施設の取組～

ぶどうの家 代表
つだ ゆきこ
津田 由起子さん



真備の災害に巻き込まれたぶどうの家。すべての利用者の命を守るために奔走し、また、災害を経て学んだ教訓を次に生かすために、演劇を取り入れたワークショップを行うなど、被災後、さらに人と人とのつながりを大切にした取り組みの様子が伝えられました。津田さんやスタッフがすべての利用者の命を大切に取り組み、広めようとする姿に心打たれました。

11/7
(木)

船穂幼稚園 PTA人権教育講演会 みんなちがってみんないい ～知ることからはじめてみよう 「発達障がい」について～

社会福祉法人リンク
保育所等訪問支援事業所「えいる」
児童発達支援管理責任者
たかはし ともか
高橋 知可さん



「発達障がい」について、正しい知識と理解が必要であること、また、「こども一人ひとりみんな違うのだから、他のこどもと比べるのではなく、それぞれにあった関わり方をすること。まずはしっかりほめて認めることが大切」と教えていただきました。
「みんなちがってみんないい」の言葉のとおり、障がいがあってもなくても、お互いに認め合い、助け合うことができる社会にしていきたいという感想が多くみられました。

11/15
(金)

船穂中学校 PTA人権教育講演会 夢をもち続けるそしてあきらめないこと ～パラアーチェリーとの出会い～

パリパラリンピック
アーチェリー選手
おおえ ゆうや
大江 佑弥さん



大江さんのこれまでの人生（野球に専念していた学生時代、脳出血による右半身麻痺のとき、アーチェリーとの出会い）から講演が始まり、人生でどんなことがあっても、夢をもち続けることの大切さや諦めないことの重要性を語られました。最後にアーチェリーの実演があり、すべての的を正確に射抜き、体育館が大歓声に包まれました。
「何事もあきらめず最後まで走り続けようと思いました。」という生徒からの前向きな感想も聞くことができました。

10/29
(火)

船穂中学校区人権学習推進委員会 研修視察 高知市立自由民権記念館 ほか



高知は、「自由は土佐の山間より」といわれるように、近代日本の自由民権運動発祥の地であり、板垣退助をはじめ、植木枝盛や中江兆民など、多くの運動家を輩出しています。高知市立自由民権記念館では、文献、写真、風刺画などの貴重な歴史資料が展示されており、自由民権運動の歩みを辿りました。現在の私たちの「自由」は、あたり前ではなく、先人たちの歴史の上にあることを、あらためて感じた研修となりました。

10/6
(日)

ふれあいグラウンドゴルフ大会

船穂地区社会福祉協議会共催

晴天に恵まれ、10組の家族を含む世代を超えた45名が参加しました。5人ずつ8グループに分かれて和気あいあいと楽しい大会となりました。順位の賞のほかに、家族で参加したチームには、家族賞の贈呈もありました。

